



レンギョウの黄色、シダレザクラの桃色、春もみじの赤——。

先月5日、創価大学（東京・八王子市）を訪れた後、池田名誉会長は牧口記念庭園へ。柔らかな光の中に躍る“春”を、カメラに収めた。

世界中に「母の日」がある。

3月や8月の国もあるが、きょうの「5月の第2日曜日」という国が多い。百花繚乱の季節こそ、いのちを育む母を祝うのにふさわしい。

君の母、あなたの母、すべての母

の心に込めよ——ここに平和の道があると名誉会長は訴えてきた。

名誉会長撮影の写真と言葉でつづる「光の言葉 幸福の曲」。第1回は「母」をテーマに贈る（言葉は詩、随筆、スピーチ等から抜粋されたものです）。

池田名誉会長

光の言葉
幸福の曲

母とは永遠に
負けない人

聖 教 新 聞

2014年(平成26年) 5月11日(日)



未来を育む偉大な母に最敬礼——中米コスタリカで、池田名誉会長が同志のもとへ（1996年6月27日、サンホセ市で）

「母」とは
「永遠に負けない人」
そして
「最後に必ず勝つ人」の
異名である。

母は、青年を育てる。

青年の活躍は、
母の功績である。
母は壮年を支える。
壮年の活躍は、
母の力の証明である。

自分が決めゆく使命の道をば、

人生の最終章まで、
悔いなく断固と貫きながら、
生き抜き、
戦い抜いていくことだ。
そして自分自身が、
勝利の満足することだ。
「あの人のように」ではなく、
「私らしく」生きていくのだ。

幸福というものは、
決して他から
与えられるものではない。
自己の生命の内に
楽いていくものである。

人生には、
嵐の日もあり、
雪の日もあるう。
だが、自己の胸中の大空には
常に希望の太陽が輝き、
青空が美しく
広がっていればよい。

平和とは、
遠くにあるのではない。
政治の中にのみあるのではない。
それは、
「母を大切にする」という
人間学の真髄の中にこそ
あるのである。